

Ⅱ 幼児（3歳～5歳）の子どもを持つ保護者の方を対象

Ⅱ-6 生活も遊びも 子どもと一緒に楽しもう！

<プログラムのねらい>

- ・家族の様子を具体的に思い出すことで、家族のふれあいの場を積極的に持とうとする気持ちを高める。
- ・親子のふれあいの場において、子どもの持ち味を子ども自身に実感させることができるような言葉かけや親自身の自尊感情の高め方を考えることで、実生活にいかせるようにする。

時 間	進 む 方	準 備
10分	<p>アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間で交流する遊びを行ない、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。 (4～5人のグループをつくる) ・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。 	P2「アイスブレイキング各種」参照
35分	<p>Work</p> <p>①エピソード1を読み、家族それぞれの気持ちを想像しながら、どうしたら家族みんなが心地よく過ごせるかを各自で考えた後で、グループで思いを伝え合う。</p> <p>【ポイント】</p> <p>○日常生活において、「ありがとう」「助かったよ」など、家族のがんばりをねぎらう言葉かけの大切さや、「どっこいしょ」「せーの」など、気持ちを合わせて一緒に活動する楽しさが味わえるかけ声の有効性を確認したい。</p> <p>②エピソード2を読み、ワーク⑤姉への言葉かけ、⑥妹への言葉かけを通して、兄弟姉妹の関わり合いに配慮しながら、言葉かけをする難しさと良さを体験する。</p> <p>【ポイント】</p> <p>○「すごいね」「上手だね」といった抽象的な言葉だけでなく、「どこが一番気に入っているの？」などと、興味を持って相手に話しかけ、さらに、姉妹が楽しくお絵かきができるよう「オノマトペ」を使った声かけなどを母親がすることの大切さに気付かせたい。</p>	<p>エピソード メモ用紙配布</p> <p>ホワイトボードや大きな紙に、発表された意見を並べ、様々な考え方を共有する。</p> <p>オノマトペとは、擬音語や擬態語の意味であることを伝える。</p>
15分	<p>グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・全体を通して、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート